



未来の先生展
2017

授業づくりの現在地を考える

～一斉授業から協同学習、『学び合い』まで～

座談 + 鼎談形式

開催日時 2017年 8月 27日(日) 12:30-14:00

場 所 武蔵野大学有明キャンパス 1号館2F 207教室

団 体 NPO授業づくりネットワーク 飯村友和 阿部隆幸 石川晋

内容

元福島・小学校教師で、上越教育大教職大学院准教授の阿部隆幸、様々な著書で広く知られる千葉・小学校教師の飯村友和、元北海道・中学校教師の石川晋。NPO授業づくりネットワークの理事3名が、それぞれの現場で、今、考えている「授業」について、20分ずつ、映像を交えて提案し、その後、鼎談を通して、互いの領域に深く分け入ります。公教育の中で、一斉授業から協同学習まで様々に展開されている授業を話題に、じっくりと話し合います。

ここに注目！

単著共著を多数持ち、全国各地で研修講師としての活動も続けている3名の教師が、それぞれの授業提案を踏まえて行う「鼎談」が最注目ポイントです。授業づくりネットワークは、民間教育団体の中では、最も早く2000年前後から対話ベースの研修スタイルを提案してきました。縦横無尽に語り合い深め合う話しぶりにご注目ください。授業づくりネットワーク理事ではありますが、それぞれが多忙であり、3名で集まって提案をする機会は、とつてもレアです！

「NPO授業づくりネットワーク」プロフィール



NPO授業づくりネットワークは、1988年にスタートした教育研究団体です。当時は基本だった思想的な同質性をベースにした研究団体、という在り方をずらし、「異質な者どうしの学び合い」をコンセプトに掲げました。雑誌刊行と研修会運営を二本柱にして、ディベート、ワークショップ型授業、メディア・リテラシー、協同学習などなど、常に半歩先を行く提案を携えて、提案性重視の研究団体運営を心掛けてきました。現在は、授業づくりの関心をもつ教師や研究者はもちろん、教育を応援する民間企業やNPO、行政関係の方、一般市民や学生の方とも連携を深めながら、新しい授業づくりの方向を提案しています。

参加者へのメッセージ

アクティブ・ラーニングに注目が集まっています。授業改善の流れが本格化しつつあるものの、なかなか現場レベルでは、劇的には改善が進んでいない現状もあります。授業革新に挑戦してきた3名の中堅ベテランの教師も、様々な困難と向き合いながら、授業改革に挑戦してきました。その方略や考え方を、みなさんに、しっかり届けたいなあと考えています。公立学校の可能性を信じる若い先生方、ぜひ、お集まりください。

